

自作教具の活用事例

【作品名】 さいころトークのウキウキさいころ	【学校名】 日立市立大沼小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動・特別活動	【制作者名】 菊池 浩美
【制作の意図】 児童が楽しく「さいころトーク」を行うことを通して、楽しくコミュニケーション力の向上を図ることができる。	【使用の方法】 「さいころトーク」のさいころとして使用する。
【制作上の工夫】 さいころの数や質問の内容は児童の実態に応じて作成する。 2年生向けに4種類のさいころを作成した。 (1) アクション (アイス・ブレイクとして) じゃんけん、ハイタッチ、あつちむいてホイ等 (2) 好きな〇〇は？ (3) もしも、〇〇ができたなら？ もしも、〇〇があったなら？ (4) あなたの宝物は？大切な人は？等	【見取り図】  手作りのさいころ (4年生以上であれば、算数科の立方体の学習と関連付ける) さいころの1辺は、5～6cm位 (大きさは好みで) さいころの各面に目の数のシールとアクションや質問カードを貼る。
【写真】 	【使用効果と応用発展】 「さいころトーク」の前に教師と個別にQ&Aの練習をすることで、活動がスムーズに展開する。 児童の実態に応じて質問の内容を変えたり、児童に質問を考えさせたりすることで、更に充実した活動になる。 教室に会話のヒントカードを掲示することで、会話が円滑に展開できる。 (アイコンタクト、うなずき、切り返し等)
【材料・材質・部品等】 工作用紙 シール ラミネートフィルム すごろくのシート(市販の物)	